

○ しいたけづくり

豊かな森林資源に恵まれた月館町では森林を利用したしいたけやなめこの栽培が盛んでした。なめこ、しいたけの生産量は、県内でも上位を占めていました。

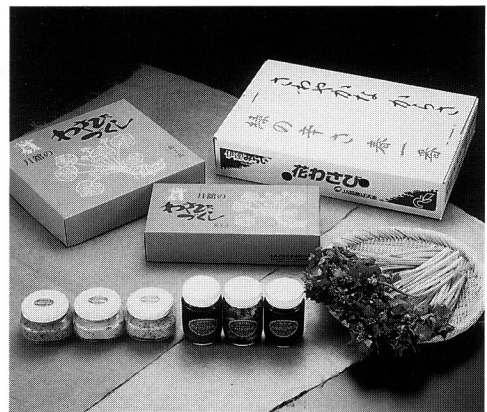


○ はわさび

わさびは、日本原産のアブラナ科の多年草で、日本のほぼ全域にわたり、特に山間部の溪流等に自生しています。わさびは、特有の刺激性的強い辛味成分を含み、薬味等に利用されています。

また、古くから栽培も盛んに行われ、静岡県・島根県・長野県の産地は有名ですが、畑わさびでは、ここ月館・霊山が産地としてあげられます。

産地として拡大するきっかけとなったことは、昭和48年頃、町内の農家が自家用に栽培していたわさび（在来種）を出荷できないものかと農協に持ち込んだことでした。もともと、系統の良い在来種が自家用に各家庭で栽培されており、その後、幾多の出荷改善を繰り返し、収益性の高い作物と評価されました。これにより、昭和52年より農協指導型の出荷体制を確立し、一般農家への株分けを行い経済栽培が始まりました。



※ このように月館町の人々は、月館町の土地や気候にあった農作物をくふうしながらつくり、農業を発展させてきました。